

海外自治体幹部交流協力セミナー2014(シンガポール事務所) 地方交流事業概要

【地方交流事業】

11月11日(火)【移動(東京→鹿児島県)/副知事表敬】

(1)佐々木副知事表敬訪問

佐々木副知事から、以前に自治体国際化協会ニューヨーク事務所長として勤務された経験について紹介があり、「海外の自治体と比べることによって自分達(自国)のことを深く理解することができる」など、交流の重要性について述べられたほか、「ぜひ、鹿児島滞在期間中に、鹿児島県の良いところを知ってほしい」旨、歓迎の意を表明された。



鹿児島県副知事表敬訪問の様子

11月12日(水)【行政説明/県内企業視察】

(1)行政説明「鹿児島県の国際交流」(国際交流課)

冒頭、鹿児島の魅力(自然、歴史、文化)や海外諸都市との位置関係に関する紹介があり、参加者の理解を深める一助となった。また、県の国際交流施策や現況について、友好国・地域との交流状況や定期的な交流会議の開催等、県の国際交流員から具体的な説明があった。特に、シンガポールをはじめとする東南アジアとの交流について、直近の取組みを重点的に説明された。



行政説明の様子

(2)行政説明「鹿児島県産農林水産物・食品の輸出促進について」(かごしまPR課)

日本の食品市場の縮小傾向と東南アジア諸国の日本食ブームの広がりを背景に、鹿児島県が海外マーケットに着目していることや現状分析について説明があった。また、鹿児島県農畜産物の輸出状況について国別や食品別での説明があり、輸出促進に関する活動について、具体的な取組みについて説明があった。

(3)行政説明「鹿児島県のインバウムの取組み」(観光課)

海外セールスや旅行エージェント・マスコミ等招待事業などの誘客対策や受入体制の整備など、アジアからの誘客施策を展開している点について具体的な説明があった。

(4)行政説明「製造業のアジアへの販路開拓支援について」(産業立地課)

製造業の振興施策について、かごしま製造業振興方針による柱の紹介があったほか、海外企業視察、企業と留学生との交流支援、中小企業の外国出願支援、海外展開に関する実務支援などについて、具体的な説明があった。

(5) 株式会社エヌチキン視察

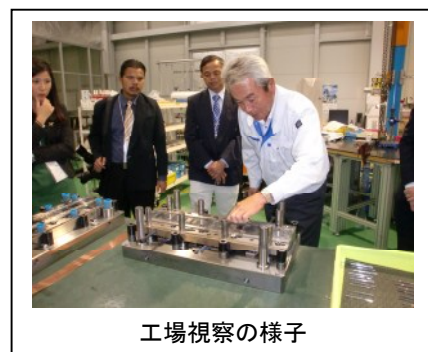
ハラール食品を扱っている企業を訪問し、実際の食品を試食したほか、工場内の製造工程を視察した。質疑応答では、ハラール対応に関する質問が多数あり、参加者から、企業の全国展開や海外展開について提案がなされるなど、活発な意見交換がなされた。



ハラール食品試食の様子

(6) 株式会社東郷視察

国内外で活躍する高精度・精密プレス金型の専門企業を訪問し、タイのチョンブリ市に工場を設けている等の海外進出に向けた取組みについて説明を受けた。また、工場内の製造工程を視察した。参加者は、薄型金属など、日本の最先端技術に感銘を受けたとの感想があり、製造された商品の用途などや当該商品の需要など、多くの質問が寄せられた。



工場視察の様子

11月13日(木)【視察/意見交換会】

(1) 城山観光ホテル視察及び意見交換会

海外観光客受入に向けた取組みについて説明があったほか、イスラム教徒向けの礼拝室等を視察した。参加者は視察も兼ねて実際に宿泊したため、ホテル側との意見交換では、「魅力的な小さいお土産を増やした方がよい」など、参加者の視点による海外観光客等誘致に関する具体的な提案が挙がった。



城山観光ホテルとの意見交換の様子

(2) 仙巖園視察

国の名勝に指定されている庭園を視察した。1658年に薩摩藩主島津光久が別邸として築庭されたこと等、国際交流員から視察前に事前説明があり、江戸時代や明治時代における鹿児島県の状況について、参加者は深く感銘を受けていた。また、視察中はボランティアガイドによる英語での説明があり、活発な質疑応答があった。



仙巖園にて記念撮影

(3)意見交換会

参加者からは観光に関する意見が多く見受けられた。特に鹿児島へのアクセス、Wi-Fi 環境整備、ハラルビジネスへの参入等に関して積極的な意見交換があったほか、観光インフラの一環として、ゴミ処理について受入自治体及び参加者の所属団体の問題意識が共有された。また、参加者より東南アジアからの観光客を増やす際はマスマーケットに目を向けて（ターゲットを絞る）、魅力的な価格や特別な優遇策を設定すると良いなど、積極的な提案がなされ、有益な意見交換となった。



意見交換会の様子